



新しい年を迎え、園にも子どもたちの笑顔が戻ってきました。寒さが厳しくなる一方、雪遊びを楽しみにする声もあります。この時期ならではの遊びも取り入れ、思い切り遊べるようにしていきます。

インフルエンザやコロナなど、まだまだ油断できない状況ですので、ご家庭でも手洗い・消毒・マスク等をしていただき、感染予防をしていきましょう。



1月に入りましたが、中々雪が積もらず、数回しか雪遊びができませんでした。それでも、上着、手袋や帽子をウキウキしながら着用し、足早に園庭へ出ると「雪だ〜！」と嬉しそうに遊んでいました。雪の冷たさに驚きながらも、雪合戦をしたり雪だるまを作ったりと、各々時間いっぱい楽しく遊んでいました。窓の外を見て雪が降ってくると「これ積もらんのかな〜」と雪遊びが恋しそうな子どもたちでした。雪遊びへの期待を高めながら、遊べた日には一緒に楽しみ、見守っていきます。

生活発表会の練習が始まりました。合唱・合奏共に、子どもたちの聴き馴染みのある曲で日常でもよく口ずさんでいます。合奏では自分のパートを一生懸命練習する姿が見られ、上手いかななくても前向きに諦めず練習を続けています。そのうち、リズムを自分で覚えて取るようになり、とても上手になってきました。本番まで残り約1週間、集中して取り組む時間と思い切り自由遊びを楽しむ時間を設けていき、子どもたちのやる気や意欲を高めながら練習していきたいと思えます。

## ○さかなの日事業○

17日(金)に cocokara へさかなの日事業の見学に行きました。海にはどんな魚がいて、どんな姿をして育ってきたのかなど、たくさんのお話を聞き、写真と共に学びました。中には見聞きしたことのない魚や、赤ちゃんの頃とは姿が全く違う魚に驚く声も聞かれました。その後、成魚と稚魚のペアを探すゲームをすると、自分が持っている赤ちゃんの頃の魚が大きくなったらどの魚になるのか、見た目や色などをヒントに探しており、上手に参加することができていました。その日の給食は鮭だったので、「これも海におったのかな〜」「美味しい〜！」と喜んで食べていました。

## ○エピソード○

園庭で雪遊びをしている時の一コマです。すべり台の近くで氷を発見した子がいました。

Aくん「見て〜！氷や」

Bちゃん「わ〜、すご！え、これ雪なん？」

Aくん「違う、氷やって！」

Cちゃん「だって雪は白いやん」

保育教諭「氷は何色が分かる？」

Cちゃん「透明！やから雪ちゃうし」

園庭で雪と氷を見つけた子どもたちは見た目と色の違いに気付きました。この2つでは遊び方も変わってくるため、氷は「割れないように」とそっと手に取って大事そうに持っていたり、雪のように丸めようとしても出来なかったりと、2つの違いに不思議さと面白さを感じている様子が見られました。また、作った雪だるまや見つけた氷がその日の内に溶けてしまうと、「あれ！？溶けるとる！」「あったかいからや！」と気付いていました。物の性質や仕組みに興味・関心を持つことで、遊びはもっと広がり、面白くなっていきます。今後もこのように自然に触れていく体験を大切にしていきます。



- ・ 3日(月)豆まき
- ・ 4日(火)体操教室
- ・ 5日(水)発表会リハーサル②
- ・ 8日(土)生活発表会
- ・ 20日(木)身体測定
- ・ 21日(金)引き渡し訓練
- ・ 22日(土)入園説明会
- ・ 28日(金)お誕生会